

令和3年度 延岡しろやま支援学校 学校関係者評価

※学校関係者評価委員(6名)による評価を集約した結果を学校評価として以下に示す。

学校経営ビジョン(学校経営方針)	
ビジョン1 「チャイルド・ファースト&チャレンジド・ファースト」を柱とした学校運営	
ビジョン2 「社会に開かれた教育課程」の具現化を目指した3つの視点(しろやまOPQ)によるカリキュラム・マネジメントの推進 O…Original(オリジナル) 恵まれた教育資源を生かした、本校ならではの教育実践 P…Pride(プライド) 県北のセンター校としての矜持(きょうじ)を示す取組 Q…Quality(クオリティー) 卒業後の豊かな生活を支える生涯学習の推進	
ビジョン3 子供の学びを支える環境の整備	
ビジョン4 これからの時代を見据えた「働き方改革」	

※評価の基準 4:十分達成された 3:概ね達成された 2:やや不足な点がある 1:ほとんど達成されていない

方針	具体的取組事項	評価	評価コメント
ビジョン1	(1) 子どもの権利条約、障害者権利条約の理解促進と人権感覚の涵養を図り、併せてコンプライアンス遵守の機運を高める。	2.8	<ul style="list-style-type: none"> 常に子供の人権を尊重した上で、一人一人の児童生徒に丁寧に指導をされていることがうかがえる。 コンプライアンスに対する意識向上をに努めていると感じる。 コロナ禍で交流機会が少ないが、概ねできていると思う。 子供の人権尊重に対してさらなる向上を目指すのは永遠の課題とも言える。 権利擁護や人権について、それぞれの状況を省みて、次につなげることも大切である。
	(2) 校訓及び新しい幼児児童生徒像に基づく教育活動の充実 「表現」 自ら考え、自分らしく表現する子ども(思考力・判断力・表現力等) 「実践」 学んだことを生かし、実践することも(知識・技能) 「挑戦」 夢をもち、自ら挑戦する子ども(学びに向かう人間性等)	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 「表現」「実践」「挑戦」の教育活動の充実が十分うかがえて素晴らしい。 家庭との連携協力をさらに呼びかけて、学校で学んだことを家庭でも習慣化すると生きる力に繋がる。 職場体験ではしっかりとした挨拶や行動ができていると思う。 これらのテーマに対する様々な取組が見られた。今後も継続していただきたい。 それぞれの障害に応じ、「表現」「実践」「挑戦」への取組の工夫が見られた。
ビジョン2	(1) 卒業後の視点を大切にされたカリキュラム・マネジメント ・自立や社会参加の基礎となる意欲と力の育成 ・地域とつながる教育活動 ・幼稚部から高等部まで一貫したキャリア教育の推進	2.8	<ul style="list-style-type: none"> しろやまOPQの推進へ向け、日々努力されていると思う。 聴覚部門の高等部ができてほしいとの声がある。 卒業を考えての対応や、卒業後のフォロー体制が良好である。 特に、高千穂校の取組には感銘を受けた。
	(2) 特別支援学校教職員としての専門性の向上 ・OJTの推進と専門的指導力の向上 ・オンライン研修や自主研修等OFFJITの推進と研修機会の充実	2.8	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中で、オンライン研修に不慣れな職員への啓発やサポート、研修が必要だと思う。 活動が限定されている中、研修に対して消極的にならざるを得ない点もあった。 コロナ禍でOJTが厳しい中、オンラインによる研修は十分評価に値する。 コロナ禍で苦勞されているのがうかがえる。
	(3) スポーツ・文化芸術活動の推進 ・コロナ禍における教育活動の工夫と参加・発表機会の充実 ・外部機関連携やICT活用による作品展や校外販売等の推進	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 実施へ向けての工夫が見られる。地域とのふれあい交流が豊かにできている。 卒業後は地域に人と共に生活できる力が身につくと思う。 部活動にももっと力を入れてみてはどうかと思う。 コロナ禍においても、文化祭などの開催や、高千穂校での取組など、とてもよい。 工夫して活動している。特に高千穂校の取組には感銘を受けた。
ビジョン3	(1) 新時代の学びを支えるICT教育の推進 ・GIGAスクール構想による1人1台端末の効果的な活用 ・高等部における就学奨励費によるタブレット購入の推進	2.7	<ul style="list-style-type: none"> ICT活用に取り組んでいると思う。ネットトラブルやセキュリティーに関する指導が重要だと思う。 教える側の研修制度の充実が大切だと思う。 タブレットの活用により、有効的に活用できていると考える。違法サイトの制限や中傷メール等の点で課題が見られる。 環境は整っているようだが、生徒全員が対応できるかが疑問である。
	(2) 感染症や災害の発生への対応 ・学習指導、生徒指導、災害時対応等の視点で環境整備・校内美化 ・ゾーニングやスクールサポートスタッフ活用など感染症対策の強化	3.2	<ul style="list-style-type: none"> 校内の連携が重要であるが、十分なされていると思う。 先生方の問題点の声を改善すればいいと思う。 感染症の対策、対応力、危機管理において、十分対応できている。 感染症対策には難しい問題もあることは理解できる。 性の問題は、これから彼らが直面する大きな問題であるので、十分に取り組んでもらいたい。
ビジョン4	(1) 「何ができるようになるか」の視点に基づく学習活動や行事の見直し	2.8	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でも確実に成長に繋がる学習指導がなされている。 働き方改革がうまくいくとよいと思う。 ZOOMを活用し、保護者に対しての見える化も必要かもしれない。 感染症による行事の中止も理解できる。オンラインによる対応でどうカバーしていくかが課題である。 世の中にはいろいろな仕事があることを、ビデオなどで情報提供していくことも必要である。
	(2) 校務支援システムや資料の視覚化等のICT活用による文書業務の削減と効率化	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 負担感の軽減は、早期解消は難しいかもしれないが、職員が心身共に健全な職務・生活を送れるよう願っている。 働き方改革は、様々な学びを行いながら、情報収集され実践してみるといいかと思う。 文書業務の削減や効率化など、難しい問題である。削減の「見える化」も効果的であると思う。 働き方改革やデジタル化など、進んで対応していただきたい。